

大路農泊推進情報

令和元年 8 月 22 日

第 11 号

(一社) みつおおじ
設立社員

今回も「一般社団法人みつおおじ」についてお知らせしたいと思います。

「一社みつおおじ」の定款第 3 条の目的には、

みつおおじは、大路地区内の里山の暮らしを守り、その魅力を発信することで、都市住民等との交流を通じ大路地域を活性化することを目的とし、その目的に資するため、次の事業を行う。

- (1) 地域資源を維持・活用する事業
- (2) 地域産業の振興や雇用の創出、所得向上などを旨とする事業
- (3) 体験・食事・宿泊などを通じ、再訪や移住に結びつく事業
- (4) その他前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

としています。

難しい表現なのでわかりにくいとは思いますが、第 1 号でもお知らせしましたように、大路の現在の高齢化率は 41.2%（丹波市でワースト 2）、この 5 年間で耕作放棄地がどんどん増え、空き家がますます増えることは目に見えています。このことは“現状維持”することさえ困難と思います。しかし何か行動を起こさないと限界集落に近い寂れた地域になってしまいます。

大路は幸いなことに、豊かな自然や快く人を迎え入れる気質の方々が多く住んでおられます。そのような大路ならではの暮らしや風土、そこに住む人の魅力を味わってもらい、「おおじファン」を増やしていく。実はその「おおじファン」は、私たちの想像以上に多くおられます。その「おおじファン」と大路で生まれ育った住民が繋がりを深め、田舎体験や交流会、食事会、宿泊を通じながら、外から訪れる人々が移住を考えてもらえるように結び付けていきたいと思っています。欲を言えば主に農業に関心のある若い夫婦等に移住してもらうことになれば、大路には明るい将来が見えてくるのではないかと思います。

また、現在大路に住んでいる私たち自身もさらに交流を深め、様々な事業に参加して協力してもらい、少しでも潤えるような楽しみも味わってほしいと思います。

そのようなことを上記の「みつおおじ」の目的としています。

